



議会だより

なよろ

令和元年
第2回定例会

第 **53** 号

令和元年8月1日
発行



目次

- 定例会で決まったこと・議会日誌 2
- 議決結果・賛否の分かれた議案・意見書 3
- 一般質問に13人・政務活動費報告 4～10
- 総務文教常任委員会活動報告・市民福祉常任委員会活動報告 11
- 経済建設常任委員会活動報告 12
- 議会運営委員会活動報告・議員協議会・議会スナップ 13
- きぼう・編集後記 14

題字 名寄東小学校 高嶋 和花(たかしま のどか)さん

令和元年 第2回定例会 6月3日～6月21日

名寄市災害弔慰金の支給等に関する条例・名寄市基金条例の一部改正、感染症対策事業費・プレミアム付き商品券発行事業費などを含む一般会計補正予算などを原案可決

令和元年第2回定例会は6月3日～21日までの19日間で開催。開会初日には加藤市長より行政報告が述べられました。議案審議では、改元に伴う関係条例等の整備に関する条例を含む条例の制定及び一部改正案6件、除雪ドーザの購入を含む財産の取得4件、専決処分承認4件、補正予算案2件、各種報告11件、人事案件を含むその他の議案等を原案のとおり可決しました。一般質問では19日から21日までの3日間で13名の議員が市政に関する質問を行いました。

条例の改正等

☆名寄市災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正について

災害弔慰金の支給等に関する法律の一部が改正されたことに伴い、条例を一部改正し、災害により被害を受けた場合の生活の立て直しのために活用することができる、災害援助資金の「貸付利率および償還方法」を利用しやすい内容に変更しました。

☆名寄市基金条例の一部改正について

国の税制改正により、森林環境税及び森林環境譲与税が創設され、今年度から森林整備などの財源として、各自治体に譲与されることから、その運用に必要となる「森林整備等振興基金」を創設するため、基金条例の一部を改正しました。

☆財産の取得について

平成7年に取得した除雪ドーザ及び給食センターの食缶洗浄機等の老朽化に伴う更新をしようとするものです。

主な補正予算

☆感染症対策事業費

国の風しんに関する追加的対策に伴い、風しんの抗体検査、定期予防接種および対象者へのクーポン券発送などに対する事業費として498万円を増額しました。

☆プレミアム付き商品券発行事業費

消費税引き上げに伴う、低所得者及び子育て世帯を対象としたプレミアム付き商品券の発行経費とその事務費として4400万円を計上しました。

人事案件

◆人権擁護委員

佐藤 源 嗣氏(再任)

名寄市徳田65番地127

村上 勝 浩氏(再任)

名寄市西3条北5丁目14番地2



除雪ドーザの更新により除雪力を向上

議会日誌 4～7月

- 4/1 議会報特別委員会
- 5/1 各会派代表者会議
- 5/7 各会派代表者会議
- 5/14 令和元年第1回臨時議会開会
- 総務文教常任委員会
- 市民福祉常任委員会
- 経済建設常任委員会
- 議会運営委員会
- 議会報特別委員会
- 5/17 上川北部市町村議会
- 議長会(土別市)
- 5/20 市民福祉常任委員会
- 議会報特別委員会

- 5/22 北海道市議会議長会
- 道北支部議長会
- (土別市)
- 5/23 総務文教常任委員会
- 5/24 経済建設常任委員会
- 5/27 各会派代表者会議
- 5/28 北海道市議会議長会総会
- 5/31 議会運営委員会
- 議会報特別委員会
- 6/3 令和元年第2回定例会開会
- 各会派代表者会議
- 6/11 全国市議会議長会
- 定期総会(東京都)
- 6/17 委員長会議
- 各会派代表者会議

- 6/19 議会運営委員会
- 6/21 令和元年第2回定例会閉会
- 林活議連総会
- 議員協議会
- 7/1 全国市議会議長会基地
- 協議会理事会(東京都)
- 7/8 市民福祉常任委員会
- 7/9 総務文教常任委員会
- 7/10 議会運営委員会
- 7/12 経済建設常任委員会
- 7/18 議会報特別委員会
- 7/19 各会派代表者会議
- 7/22 各会派代表者会議
- 議会運営委員会
- 7/31 総務文教常任委員会

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



市民と協働のまちづくりを

市政クラブ 東川孝義 議員

新設部署の役割と機能は

問 総合政策室が総合政策部として独立したが、設立の趣旨と具体的な運営機能は。また、営業戦略室の成果と産業振興室の具体的な取り組みは。

答 新設の総合政策部は、地域において人口減少が喫緊の課題とされる中、様々な課題に部局間連携で横断的に対応する。そのための目標としては、総合計画や総合戦略に代表される施策や短期的に全庁が取り組むべき施策にスピード感を持たせ深化をさせていく。営業戦略室は平成23年設置後、名寄市観光振興計画や交流事業、移住・定住事業で一定の役割を果たしてきた。新たな産業振興室では、地元

空き家対策の推進は

問 空き家については全国的に増加傾向にあるが、市の空

家を定める基本計画の策定を含め取り組む。



新設部署設立で人口対策の推進を

き家の推移は。また、空き家バンク制度の活用実績並びにU・Jターン制度で全国へ市の空き家情報を登録しては。

答 人口、世帯数の減少率との比較では、空き家の減少率は大きくなっている。空き家バンクの制度は情報発信のツールのひとつであるが、申請に至った事例はない。移住者には全国において、市移住促進協議会には、不動産業者が入って運営しており協議会で検討したい。

他の質問・医療と連携した活力ある健康社会づくり



組織機構見直しのねらいは

市民ネット 山崎真由美 議員

総合政策部新設、連携は

問 スポーツ・合宿推進課が、教育委員会から総合政策部に移設された。生涯スポーツの振興やスポーツによる青少年育成を展望し、より大きな効果を生むために、今後どのような連携がとられていくのか伺う。

答 これまで取り組んできた事業は、他部署との連携をさらに深め、総合計画の振興に合わせ推進し、児童・生徒の健康保持・増進や体力の向上については、学校現場と連携を密に推進していく。また、三月に設立した「Nスポーツコミッション」には、教育委員会、経済部、総合政策部からも構成メンバーが出ており、庁内連携を図りながらスポーツによる地域振興の実現及び、生涯スポーツの振興を図っていく。

安全安心な地域づくりを

問 児童・生徒の登下校時に

おける一層の安全確保策は。

答 各小学校で設置する安心会議で、「SOS110番の家」を設置し見守りを行っている。また、安全安心円卓会議を開催し、関係機関の情報共有を図り、不審者情報やいじめ問題等の課題把握にも努めている。子ども達への注意喚起も行い一層の取り組みを進めていく。

他の質問・高齢者に優しいまちづくりについて・歩き易い路面環境整備について・買い物支援の体制づくりについて



地域全体で安全安心を支える SOS110 番の家

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



多様性を認める市民社会を

市民ネット 富岡達彦 議員

性の多様性の受容と理解を

性の多様性の受容は、世界標準になっている。男女共同参画に関する条例の中に、性的少数者に対する差別を禁止する一文、性別の定義に「心理的性別」を盛り込む自治体が増えている。本市の性的少数者への正しい理解と偏見差別解消の取り組み方を、名寄市男女共同参画推進条例に取り入れる考えは。

性の多様性尊重への関心の高まりは感じている。条例は全市民が対象であり、性的少数者も含まれるという考え。憲法の理念に則った条例であり改正の検討はしていないが、国や他自治体の動向など情報収集に努めていく。

同性異性間のパートナーシップ制度を導入した自治体は全国で20を超えているが本市の導入に関する考え方は、誰もが暮らしやすいまちづく

りに資する制度と認識している。市民理解を含めて、全国的な推移について情報収集していく。

化学物質過敏症について

香害に代表される化学物質過敏症に悩む市民の実態調査と対策について伺う。

本市施設は化学物質濃度は基準内。香害対策は健康相談などを整えて配慮し、今後調査研究していく。

他の質問・JR宗谷本線の維持継続について。観光列車「風つこそうや号」運行について



少数者の暮らしやすさは、全市民の暮らしやすさにつながる



住みつづけたいまちづくり

市政クラブ 遠藤隆男 議員

特別支援教育の推進について

特別支援学級の現状と教育支援における今後の課題は。

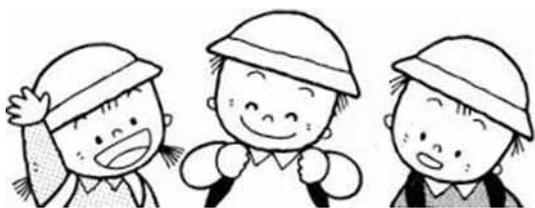
本市の特別支援学級の現状は、昨年度に比べて本年度は、全体で4学級減となったが、在籍する児童生徒数に変化はなく、各学校において、多様な障がい種の学級が設置されている。このため、一人ひとりの障がいの状態等に応じた指導内容・方法の工夫が求められており、学校全体で支援体制の充実を図っていく。

農業振興施策について 担い手の現状と人材確保・育成の取り組みについて

農家戸数の継続的な減少や農業従事者の高齢化により、担い手不足は大きな課題となっている。取組みとして、道北農業担い手育成対策協議会を通じ、名寄産業高校酪農科学科への支援をはじめ、新規就農者支援事業の見直し拡

充、地域おこし協力隊制度を活用した農家子弟や新規参入者の確保に努めている。また、JAとの農業後継者支援事業のほか、農家子弟が後継者として早期に定着・安定が図れるよう、指導・相談体制、財政的支援に加え技術や生活面でのサポート機能の充実に取り組んでいる。

他の質問・特別支援教育専門家チームの巡回相談実施状況、農畜産物のPR推進について



子どもたちが「明るく・元気に」学び・成長できる支援体制を

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



ふるさと納税について

市政クラブ 三浦勝秀 議員

寄附金の事業実績について

問 使途指定の寄附（寄附者がどのような事業に対し寄附金を活用してほしいか）を財源とする事業実績について。

答 寄附金は地域振興基金に一度積み立て、翌々年度の指定事業に対し予算編成している。

問 29年度の寄附による実績は農業支援事業に279万7千円で、子育て事業の「ひまわりランド」や「ファミリーサポートセンター」運営費等で350万2千円を予算計上し活用することになっている。

問 指定事業なしの寄附に対する事業実績について。

答 昨年度は市立大学の図書館や小学校の学習支援等に活用した。

問 活用報告の掲載内容について現在の名寄市ホームページでは28年度までの実績しか確認することができないが、どのように改善していくのか。

答 ホームページ内の事業内容を詳細にし、寄附金が有効に活用されていると実感できるように努める。

指定事業追加と今後の見通し

問 中心市街地活性化と観光に関する項目の追加について。

答 必要に応じて見直している。

問 農産物や新たな返礼品の追加の対応について。

答 名寄市に対する寄附金額は、インターネットの専門サイトのPR効果により前年度から2133万1千円増加している。生産者や発送業者との協議を重ね、特産品を全国にPRできる機会の増加に努める。



名寄市のPRと財源確保を目指して！



未来を見据えたまちづくりを

市民ネット 倉澤宏 議員

統一地方選挙の総括について

問 今回の選挙の告示前後における有権者への啓発活動は。

答 当初予定していた商業施設での街頭啓発は人員配置の関係で見送ったが、今後においては可能な限り投票の呼びかけを行いたい。

問 低迷が続く投票率の向上にむけた取り組みは。

答 若年層の投票率が特に低いことから、学校への投票箱の貸し出しや学生に対する主権者教育の充実に取り組んでいきたい。

これからの街区形成への展望

問 中心市街地の位置づけについて。

答 都市機能の集積、居住誘導区域と併せて重要な区域であり、新計画においても現在の中心市街地は重要なエリアと考えている。

問 コンパクトなまちづくりの形成に向けた具体的な居住誘導策の考えは。



金融機関の移転など、変化を続ける名寄地区の中心市街地

答 国が示している施策の例として家賃補助、住宅購入補助、公共交通整備、空き地空き家対策があるが、公共施設の再編と医療福祉等、他の施策と連携を図り具体案を検討していく。

他の質問・社会教育行政について・公民館の役割についてほか

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 は。 名寄市の西部にあたる約3000ヘクタールを受益面積とする基盤整備が要望されており、本市としても役割を果たしながら事業採択、推進に向けて取り組む。

答 過去5年間で51人が就農している。地域農業の持続的な発展にはさらなる担い手の安定確保が必要であり、農業改良普及センターやJAなど各関係諸団体・機関との連携のもと取り組みを進める。また、就農後の早期安定に向けて、農業青年団体への財政支援のほか、免許取得や視察研修費の支援を行っており、今後も早期定着と自立に向け取り組みを進める。



今後の利用に期待がされる旧下多寄小学校

問 旧下多寄小学校の再利用は。 地域と社会福祉法人から要望書が提出され、二団体の要望事項を元として協議を進めており、一定程度の確認が取れている。

問 道北の拠点病院である名寄市立総合病院の水害対策は。 現状想定される浸水に対応し得る防水対策はないのが

答 平成25年に避難行動要支援者から申請をいただき、その中で同意書をいただいている状況となっている。その後、更新がなされているので、現在、新たに名簿を作成するため、防災担当部局と連携しながら、申請書や更新手順についての協議を進めている。平時における部外提供については、消防や警察、その他の避難支援等の実施に携わる関係者に対して名簿を提供し、有事への備えに有効活用できるものと考えている。



昭和56年8月豪雨 内淵地区冠水

現状。災害発生時には、院内患者及び職員等の安全を第一とし、直上避難させ、復旧が見込まれる概ね三日間程度の医薬品や備蓄品、食料を確保して一時避難対策を講じる。
他の質問・名寄市総合計画(第2次)中期基本計画の重点プロジェクトにおける「経済元氣化プロジェクト」・「冬季スポーツ拠点化プロジェクト」について



持続的な農業・農村地域を

市政クラブ 今村芳彦 議員

人材育成と経営基盤について

問 農業の担い手確保が課題となっているが、名寄市の取り組みと対応は。

所管施設の有効活用について

問 旧下多寄小学校の再利用



災害弱者への支援整備

市政クラブ 清水一夫 議員

避難行動要支援者名簿の活用

問 避難行動要支援者からの同意書の取得状況と、平時における避難行動要支援者名簿の部外提供は。

現状。災害発生時には、院内患者及び職員等の安全を第一とし、直上避難させ、復旧が見込まれる概ね三日間程度の医薬品や備蓄品、食料を確保して一時避難対策を講じる。

他の質問・名寄市総合計画(第2次)中期基本計画の重点プロジェクトにおける「経済元氣化プロジェクト」・「冬季スポーツ拠点化プロジェクト」について

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



人材不足対策は喫緊の課題

市政クラブ 五十嵐 千絵 議員

外国人材の現状と取組は

問 少子高齢化が進む中、特に中小企業では人手不足が深刻な問題である。本年4月から施行された改正入管難民法では、新たな在留資格「特定技能」がスタートした。本市における外国人材受入の現状は。

答 本市では外国人労働者に関する調査結果の速報値として5カ所の事業所で12名の外国人が働いている。人手不足を解消する方策の一つとして、外国人材の受入れ及び市民との共生が円滑に進むよう、商工会議所、商工会と連携しながら取組を検討する。

女性が活躍出来る環境を

問 少子高齢化が進むなか、人材不足の観点からも女性が活躍できる社会形成は必要不可欠だ。企業における意識改革についてどう考えるか。

答 第2次名寄市男女共同参画推進計画に基づき、先進企

業表彰のほか、女性の職域拡大と積極的登用、育児、介護休業制度の充実と柔軟な勤務形態の整備に関して広報やホームページ等を活用し周知している。女性が個性と能力を発揮して職業生活において活躍できるよう市内企業に向けて啓蒙活動に努めていく。



男女が平等に活躍できる社会を



統一地方選挙を振り返って

市政クラブ 塩田 昌彦 議員

投票率を上げる対策

問 統一地方選における年代別及び男女別投票率の分析結果から見える今後の課題と投票率向上対策について。

答 基準投票区の結果から、投票率は8年前に比べ道議選で6%、市議選で9%低い結果となり、年代別では60代が77%と最も高く、市議選において10代の投票率は10%と最も低かったほか、全般的に男性の投票率が比較的に高い傾向にあった。また、若年層の投票率では30代以上に比べ20%程低いことが分かった。

問 投票率において、若年層や30代女性の割合が低いことから投票啓発や買い物帰りに気軽に投票できる仕組みは。

答 啓発の充実では、FM・広報・市立大学などでの啓発活動や街頭啓発の実施、投票率向上対策では18歳以下を対象とした学校への出前講座を実施し、選挙に対する意識の

向上や関心度を上げる取り組みを実施しており、新たな投票手法に関する取組事例など、投票率向上につながる情報収集を継続して行っていく。

問 不登校の現状と子ども達への対応について。

答 不登校の傾向にある児童生徒は20名で、現在2名が適応指導教室に通室している。友人関係・家庭にかかる問題などが複雑で明確に把握することが難しい状況だが、学校や関係機関と連携を図り、解決に向けた支援や指導を行っていく。

他の質問・中小企業振興基本計画の策定について・人口減少社会への対応について



平成31年統一地方選挙

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです

問 地域公共交通の今後はスクールバス活用と空白地域へのデマンド交通拡大を

答 現在ALTを2人配置しており、学校規模に応じて日数を決めて派遣している。しかしながら万度に派遣することができない。ALT増員や民間人材活用は計画していないが、高度な教員を確保するため、市教育改善プロジェクト委員会を中心とした研修、市教育研究所英語班の活動を通して、教員の語学力や指導力向上を目指す。



JETプログラムの活用促進を

問 スクールバス活用と空白地域へのデマンド交通拡大を

答 智慧文地域でスクールバスを利用した市立総合病院等への輸送バスを毎週月・水・金曜日に運行し、瑞穂地区まで路線延長したが、スクールバスのため学校行事が優先され、運行日時に制限があり運行エリア拡大は慎重にならざるを得ない。名寄市地域公共交通網形成計画の基本目標の一つである「空白地域の足の確保」を課題の一つとして、デマンド交通の導入検討も含め、名寄市地域公共交通活性化協議会でより良い公共交通となるよう議論していく。

他の質問・自転車保険加入促進について・春先の市道の凹凸の改良対策について・SEA（スポーツ国際交流員）の導入について

外国語指導助手の活用を



学校教育のさらなる国際化

公明 高橋伸典 議員

問 道路不具合箇所は市民か

答 道路不具合箇所は市民か

問 道路修繕は要望が強く、路肩下がりの解消や、ポットホール、陥没、高低差によるひび割れなど改修促進の考えは。また、まとまった雨が降った時に、私有地（畑や民間所有道路）等の冠水が見られる地区がある。効果的な対策は。



災害に強い道路側溝の整備を

問 道路修繕は要望が強く、路肩下がりの解消や、ポットホール、陥没、高低差によるひび割れなど改修促進の考えは。また、まとまった雨が降った時に、私有地（畑や民間所有道路）等の冠水が見られる地区がある。効果的な対策は。

答 道路不具合箇所は市民か

問 建設・土木事業のバランスを今後公共施設の計画から建設着工まで数年の期間が生じる。その間、道路改修・側溝の整備促進等にあて、雇用の安定と労働力の流出防止、基金の実質目減りへの対応策とし建設土木事業のバランスをとってはいかがか。

答 事業者が計画を立てられるような情報提供を含め、建設土木の事業費にかかわらず人材確保に十分気配りし、できるだけ生活に支障の出ないよう進めたい。

問 道路・側溝の整備促進を

問 道路修繕は要望が強く、路肩下がりの解消や、ポットホール、陥没、高低差によるひび割れなど改修促進の考えは。また、まとまった雨が降った時に、私有地（畑や民間所有道路）等の冠水が見られる地区がある。効果的な対策は。

答 災害に強い道路側溝の整備を

問 町内会活動の拠点としての会館維持について、公設との格差がないよう会館の交付規則を見直す考えはないか。

答 現状50%ずつの負担割合。規則が6年経つので改めて担当と精査させて頂きたい。

他の質問・地域包括ケア病棟の効果と課題、在宅医療・介護連携の推進、公園砂場の衛生管理、公営住宅の空き家管理

建設・土木事業のバランスを



次世代につなぐ街づくり

市民ネット 佐久間誠 議員

一般質問

市政全般について考え方や方針などを市長等に質問します



市民への周知徹底を

日本共産党 川村幸栄 議員

会計年度任用職員制度とは

低賃金が深刻化する非正規公務員の処遇改善をめぐつ

て、平成29年5月に法改正が行われ2020年4月に導入が決まった会計年度任用職員制度。第3回定例会には関係条例の提出が必要とのことだが進捗状況は。

昨年年度中に各担当課に現状把握など調査を行い、現在は制度設計を進めている。条例提案後に職員向け説明会を実施し、来年4月の任用に向け準備を進めている。

平成29年度決算の資料によると病院なども含め685名の臨時職員があり、新制度に不安を抱えている。任用期間は会計年度内で、再任用もあり得るというが不安は大きい。現在行われている雇用中断(空白期間)についての考えは。

制度設計中であり、詳細に言えないが、雇用の維持の

観点から、任用が維持されるよう努め、空白期間の設定は予定していない。

JR北への負担了承について

利用促進費用の市町村負担了承の経緯については。市民からは「今後負担が増えるのではないか」などの不安の声がある。市民説明についての考えは。

JRの経営は審査委の影響なども重なり厳しい経営状況。市町村負担は活性化推進協議会として確認、了承した。広報等を活用し、市民に説明していきたい。

他の質問・子育てにかかる負担軽減を



非正規公務員にも安定した働く場を

政務活動費の概要について報告します。

政務活動費とは

◇政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派(所属議員1人の場合も含む)に対して交付されています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

平成30年度 名寄市議会各会派の政務活動費概要報告

単位：円

	市民連合・凜風会	市政クラブ	公明	日本共産党	新緑風会	無所属の会	名風会	合計
当初交付額	840,000	720,000	120,000	120,000	120,000	120,000	120,000	2,160,000
支	調査研究費	612,209	663,833		55,724	42,200		1,373,966
	研修費	32,530			58,660	4,000	68,744	163,934
	広報費							
	広聴費	18,502						18,502
	要望・陳情活動費							
出	会議費							
	資料作成費							
	資料購入費		12,312		17,840			30,152
人件費								
事務所費								
支出合計	663,241	676,145	0	132,224	46,200	0	68,744	1,586,554
未執行額(返還額)	176,759	43,855	120,000	0	73,800	120,000	51,256	585,670
H30年度交付額	663,241	676,145	0	120,000	46,200	0	68,744	1,574,330

*交付額を超えた費用については、会派で負担しています。

総務文教常任委員会活動報告

第1回委員会を5月14日に開催し正副委員長の互選を行いました。第2回委員会を5月23日に開催し、教育行政の推進では、学校教育課から「アクションプラン」、指導主事から知・徳・体の教育の推進、生涯学習課・公民館、児童センター・青少年センター・教育相談センター、北国博物館、市立名寄図書館、市立天文台、学校給食センターから各所管事項の説明を受けました。

名寄市立大学の運営では、大学の現状、コミュニティケア教育研究センターの活動計画、高等教育無償化などの説明を受けました。

総務部所管事項では、企画課から名寄市地域公共交通網形成計画、名寄市暮らしガイド、自治基本条例見直し検討、町内会長との懇談会開催、統計調査について説明を受け、総務課からは、ふるさと応援寄付、指定管理者制度の關係条例整備、退職手当組合の規約変更などについて説明を受けました。

また、行革・職員・研修担当から職員研修、会計年度任用職員制度、行財政改革検討部会協議事項、防災担当から災害弔慰金の支給に関する条例の一部改正、国民保護計画の変更、防災計画の一部改正、避難勧告ガイドラインの改正、財政課から基金条例の一部改正などの説明を受けました。

総合政策部所管事項では、総合政策課から総合計画と総合戦略の進行管理、移住定住対策、広域行政、宗谷本線活性化推進協議会、スポーツ合宿推進課から施設整備、スポーツ振興事業、合宿推進事業などの説明を受けました。



市民福祉常任委員会活動報告

第1回委員会を5月14日に開催し正副委員長の互選を行いました。第2回委員会を5月20日に開催し所管の市民部、健康福祉部、市立総合病院からの報告及び課題の説明を受け質疑を行いました。

市民部からは、戸籍事務電子情報処理組織の管理及び執行に関する事務委託、国民健康保険事業、名寄市税条例一部改正、空き家等の状況などの説明を受けました。

健康福祉部社会福祉課からは、生活保護業務、成年後見制度、基幹相談センター「ほっけ」について。こども未来課からは、保育所・幼稚園及び子育て支援センター「ひまわりらんど」の状況、ファミリーサポートセンター事業、待機児童解消緊急対策事業、第2期名寄市子ども・子育て支援事業計画、幼児教育・保育の無償化実施スケジュールなどについて。高齢者支援課からは、高齢化率及び後期高齢者率の推移、介護人材就労定着

事業などについて。地域包括支援センターからは、生活支援コーディネーター設置業務、認知症カフェ、フレイル予防教室の開催などについて。保健センターからは、「健康なよる21」、「名寄市生きるを支える自殺対策計画書」、歯科疾患検診などについて。社会福祉事業団からは、入所施設の現員状況、介護職員確保などの説明を受けました。

市立総合病院からは、病院事業債権放棄、業務体制、組織規程、概要の説明を受けました。



経済建設常任委員会活動報告

5月14日に市議会議員改選後初の委員会を開催し、正副委員長の互選を行いました。

5月24日には第2回委員会を開催し、各所管部署より令和元年度における主要事業の概要などについて説明を受けました。

経済部からは今年度の農林業施策の概要、森林整備等振興基金創設に伴う名寄市基金条例の一部改正について、なよろ温泉サンピラーの研修施設改修基本設計について、「名寄市ずっと住まいる応援事業」について、農地法改正に伴う名寄市農業・農村振興条例の一部改正についてそれぞれ説明を受けました。

建設水道部からは、今年度の主要建設事業の概要について説明があり、発注予定事業等で20億5637万円を予定しているとの報告がありました。また、平成30年度の除排雪事業について説明があり、降雪量が少なく出動日数も減少、苦情件数も前年に比べ減

少したとの報告がありました。その他名寄市都市計画マスタープラン見直し及び名寄市立地適正化計画の進捗状況について、名寄市木造住宅の耐震診断・耐震改修補助制度について、水道法施行規則改正に伴う名寄市水道事業給水条例の一部改正について、「上下水道料金のお知らせ」(検針票)の誤記載に係る対応と再発防止について、名寄市都市公園条例の一部改正についてそれぞれ説明を受けました。



住民の声で議会の活性化を!!

議会を傍聴しませんか!



定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また、臨時会も必要に応じて開催されます。

◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。

◇問い合わせは議会事務局(☎01654-3-2111)へお申し出ください。

議会運営委員会活動報告

令和元年第2回定例会の日程及び議事運営等を協議するため、5月31日及び6月19日に委員会を開催しました。

5月31日の委員会では、会期を6月3日から21日までの19日間とすること、一般質問は19日から21日の3日間とし13名の議員が登壇すること、上程議案は16件となることを確認しました。

検討事項では、議長より提案のあった、今後の議会運営に係る考えについて及び改選前からの検討課題となっていた3件については、今後議会運営委員会として検討していくことを確認しました。

市民との意見交換会の開催については開催日・開催場所・班編成報告事項等の内容を確認しました。

その他、喫煙所の廃止については、健康増進法施行令の一部を改正する政令の公布に伴い行政機関の庁舎について敷地内禁煙になることから、庁舎管理者に敷地内全面禁煙を求め、市民理解への対応等を要望することを確認しまし

た。

6月19日の委員会では、最終日の本会議の議事日程及び議案等について協議、3件の追加議案について審議することを確認しました。今後の議会運営については、議長より提案のあった5項目の内容を正副議長・議会運営委員会正副委員長がたたき台を作成し議論することとし、名寄市議会基本条例第14条の取り扱いについては、条例改正が伴うことから第3回定例会までに結論を出すことを確認しました。



議員協議会

令和元年6月21日の第2回定例会最終日終了後に議員協議会を開催し、地方創生推進交付金効果検証について重要業績評価指数（KPI）検証の報告を受けました。

冬季スポーツ拠点化推進プロジェクトでは、具体的事業の合宿受け入れ組織運営事業・大会セミナー等開催事業・合宿誘致受入事業に関する成果の説明を受けました。また、名寄市立大学を活用した地域のケア力向上プロジェクトでは、具体的事業の保育士等の実態調査・保育教諭資格取得のための講習会の実施・リカレント

教育、復職支援による専門職確保事業に関する成果の説明を受けました。



議会スナック チャレンジデー

5月29日

佐賀県神埼市を対戦相手に、チャレンジデー2019は、多くの市民参加をいただき、楽しく展開されました。中でもスポーツセンターを会場に開催された市民綱引き大会は、あふれんばかりの多くの市民が集い、大声援のもと熱気みなぎる戦いが続きました。名寄市議会議員会でもチームを作って参戦。体中に力を含め、両足を踏ん張って思いつき綱を引きました。昨年までの我チームは惜敗続きでしたが、今年はお陰様で悲願の一勝を経験することができました。

勝つこともさることながら、たくさんの方々と顔を合わせ、心地よい汗を流したことで、チャレンジデーの本意にふれることができました。



☆ き ぽ う ☆



1000年続く農業を
やまぐち ゆうま
 名寄市字智恵文7線北4番地 **山口 佑馬**

私は智恵文の土地で、祖父の代から続いている有機栽培を受け継いで農業を営んでいます。

有機栽培と言いますと安全で美味しい野菜を作っていると考える人もいるかと思いますが、それだけではなく、化学肥料や農薬を使わないことで畑にいる微生物等を保全し豊かな環境を次世代につないでいくことを目的としています。

日本ではまだそれほど盛んではありませんが、欧米を中心に海外の有機食品市場は増大しており、来年の東京オリンピックを機に日本でも有機野菜の需要が上がると予想されています。

病害虫による収量の減少や除草にかかる多大な労働力など、まだ課題はいくつも残っていますが、より大勢の人たちに有機栽培というものに興味を持ってもらい、市場の拡大と生産者同士支え合うことによって更に発展した有機栽培を実現していきたいと思います。



化学物質について
よしおか さとみ
 名寄市西12条南6丁目 **吉岡 里巳**

普段使用したり食べている物に化学物質が含まれている

場合、体調不良の原因になることがあります。長年悩まされた私の原因不明の体調不良がこういった化学物質によるものとわかり避けるようにしたところ、現在は症状が落ちつきました。食品中の化学物質は摂らなければ済みますが、やっかいなのは柔軟剤に代表される人工香料や消臭剤、農薬等です。予期せず呼吸や皮膚を通して体に入り具合が悪くなるのです。この化学物質過敏症という症状を持つ人は13人に1人の割合にいるという報告があり、他人事で済まされる数字ではないと感じます。健康な人も今後発症する可能性があると言っています。安心して暮らせる地域づくりの一つとして化学物質について、その使用の仕方について共に考えていただけたらありがたいです。

表紙の写真は「名寄小ヴィクトリー」です

名寄小ヴィクトリーは、名小に通う2～6年生13名と監督・コーチ3名で活動しています。

バレーボールを通じて、感謝の心を育み、他学年や他校との交流、上位大会の進出を目指して毎日練習に励んでいます。どんなこともあきらめない！の気持ちでバレーを頑張っています。



編集後記

新元号が「令和」となり、およそ三か月が経過しました。改元の行事も滞りなく行われ、「れいわ」の響きも耳に馴染んできたように思われます▼名寄市議会も四月の選挙を経て、五月一日から新しい顔ぶれとなり、議会構成も新たに六月の定例会が開催されました。初めてとなる定例会一般質問には、多くの市民の傍聴をいただき、大変ありがたく感じました。今後も役割をしっかりと果たすと共に、議会を身近に感じていただけるよう議会だより等を通して発信していきます▼地域を眺めると水田の緑が色濃くなり、一年で最も躍動する季節を迎えています。各地で祭囃子が聞こえてくるのももうすぐです▼スポーツに情熱を傾けるもよし、森林浴などのんびり季節を楽しむもよし、短い北国の夏を謳歌したいと思っています。ふるさと名寄に懐かしい顔が集う日も間もなくです。

(真)

